

# rongorongoro

茨城キリスト教大学  
文化交流学科

題字の背景画像は rongorongoro の文様から作成したものです

茨城キリスト教大学文学部文化交流学科 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-1-1-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-52-3493



左からパネリストの川上光彦氏・河村秀樹氏・中山秀一氏・沼田邦郎氏・三ツ堀裕太氏・向谷地彩良さん

## 第四回 ひたち学への招待 「この街を語る。」

去る12月11日、12日に文化交流学科主催のひたち学シンポジウムが開催されました。「地域の活性化に尽力する個々の活動を結び付ける、地域の交流拠点づくり」をテーマに、教員や学生、地域の方々が交流を図りました。  
一日目はローガンファックス記念講堂にて映画「降りてゆく生き方」上映、パネルディスカッションを行いました。また、地産地消コーナーを設け、チャチャルガン茶やかぼちゃのマドレーヌなどの試食も行われました。  
二日目は3号館にて未来デザインワークショップが行われました。  
ここでは参加した学生の感想を紹介します。

**映画「降りてゆく生き方」をみて**  
この映画は、スタッフの方々が街興しの現場を二年間取材し、制作したものです。地方の人々と触れ合うことにより、上つてゆく生き方をしてきた人の心に変化が起きていくという映画でした。自然や動物、人間の命はいつ消えるかわかりません。ひとつひとつの大事な命を守るために、私たちはどうすべきなのでしょう。また、両親、友達、先生、地域の人々など、周りの人達とつながりを持つということはどういうことなのか。たたくさんのことを考えさせられる映画でした。

**今年生春巻き!**  
夏休みにカンボジアのボランティアに参加してから約二ヶ月後、秋の文化祭ではアジアンバザールに参加させてもらいました。ショップではカンボジア、タイ、ベトナムで買ってきた雑貨・アクセサリーなどを、カフェ

**10号館IC交差点がアジア一色に**  
学園祭で「アジアンバザール・カフェ」  
昨年11月2日、3日に行われた学園祭に恒例の「アジアンバザール&カフェ」が来店された。直接アジア地域から学生が買い付けてきた雑貨や衣服などを販売。カフェでは、定番のベトナムコーヒーなど、様々なアジア食を提供。手作り感あふれるアジアな空間に多くの人が訪れた。スタッフの感想を紹介する。

**現地の味が懐かしい**  
準備期間はすごく楽しく、みんなで現地での思い出話をしたり、試作品を作ってみたりと「この味だ!」「懐かしい!」などと現地の味を懐かしんだりしました。学園祭当日には多くのお客さんが来店してくれ

が、日本はまだ上り続けるのでしょうか。その先は輝く未来が待っているのか、はたまた破壊が待っているのか……。「変革は小さいところ、遠いところから起こる」と映画の中で言っていました。これから日本を担う若い人たちは、いくらでもアクションを起こすことができます。この日立の地で、私たち茨城リ生にも輝くチャンスがたくさんあるのではないのでしょうか。  
【編集部 国井美紀】  
【2面へ続く】

- ・1、3面
- ・ひたち学シンポジウム
- ・1、7面
- ・アジアンバザール
- ・3面
- ・冬流先生メッセージ
- ・堀口教授ドイツで発表
- ・ベトナムから交換留学生が
- ・4、5面
- ・岩間先生インタビュー後編
- ・6面
- ・地球市民論講演会感想
- ・8面
- ・就職活動報告
- ・ボランティアサポート基金
- ・編集後記

では定番のベトナム麺フォーやコーヒー、さらに今年は生春巻きを新メニューに加えて販売させてもらいました。  
私は今回アジアンカフェの方を担当させてもらいました。現地の味を再現するために何度も試作品を作ったり、コーヒーの淹れ方にもこだわって何度も練習したりと、本番に向けてスタッフ一同一生懸命準備してきました。



さまざまな色のキャンドルが並ぶ



2倍楽しめるお人形です?!

11年1月号目次

## わくわくする街「ひたち」をめざす ～パネルディスカッション～

### ひたちへの想いを 引き継ぐ

6名のパネリストの方のお話はとても興味深く、元気が湧いてくるような気がした。さまざまな挑戦の裏には、もちろん辛いこともあるが、それ以上に、人と人とのつながり、地域の方々のひたちへの強い想いがあることが伝わってきた。社会人になってもひたちの

切にすることだ。「わくわくできる街にしよう」としている方々の、吸い込まれるような輝く目がとても印象的だった。

【編集部 国井美紀】

### 本学学生もパネリストとして参加

今年で4回目になる

「ひたち学」だが、毎年違った内容で工夫されていて、興味を持って講演を聞くことができた方も多かったのではないだろうか。どのパネリストの方からも「地域に何かで

【編集部 佐々木美和】

ために一生懸命になる姿勢に、私も見習うべきところがたくさんある。また、その想いを引き継ぎ、私たち学生も行動していかななくてはならないと痛感した。

6名のパネリストの方のお話を聞いて、共通していると感じたことがあった。それは、地元が好きだということ、自分が何ができるか考え、挑戦してみることに、人を大

### 日立市を若い力でデザインする ～未来デザインワークショップ～

#### 膝を交えて話し、お互いの考えを分かり合おう

いになり、予想以上の熱気に驚いた。私も討論に参加させていただいた。

「日立の買い物で不便な点をどうするか」などが挙げられた。

6～7人ほどのグループに分かれ、学生と地域の方と教員で、膝を交えての意見交換が行われた。

そこでは、「コープなどは便利だが、グループ単位での利用なので、お年寄りやグループの中に入りづらい雰囲気がある場合もある」「お年寄り

第一部は「現状把握」、第二部は「未来予想」をテーマに討論が行われた。

「お年寄りにはあまりコンビニを利用しない人もいる」など地域住民ならではの日立の問題点や課題点が挙がっ

本シンポジウム一日目に参加された方の多くがワークショップに参加し、熱い討論を繰り広げた。本学学生や教員も参加し「日立の良さと未来像」を各グループでまとめ、発表した。

教室は参加者でいっぱい

第二部では参加者一人ずつが話し合いたいテ

私はこのようなワークショップに参加したのは初めてだった。地域の

各クラス1名ずつ置いたホスト(聞き役)の学生を中心に、参加者は一班15分程の討論で別のグループに移動する。しかし、模造紙に意見が蓄積されるため、書き込まれた意見を元にさらに討論がなされ、ひとつのテーマに対し多くの考えが得られる話し合いだったと思っ

学生として日立に普段から関心を持つと共に、イベントに参加するなど行動することが大切だと考えさせられた。ファシリテーターの方にもお話を伺うことができたが、ワークショップ後の地域の人の笑顔や、学生と交流する様子を見て、私も地域の方との交流の大切さを改めて考えることができた。

【編集部 佐々木美和】



学生・教員・地域の方々が混ざっての熱い討論

### スタッフを 経験して

日立学のシンポジウムに参加して、未来デザインワークショップという普段とは違う討論のやり方で聞き手になったり、たくさんの方たちから「日立をこれからより良くするにはどのようなようにしていったらよいか」などの熱い思いを聞くことができた。

幅広い年齢層の人たちが日立についていろいろ考えていることを知ることができ、「日立はこれから先もつとより良く発展していく」と思えるシンポジウムだった。

【文化交流学科

3年次 竹原大志】

発表によって各班の意見を知る



# ヘアシリテーターの紹介

## 清水隆太郎氏

(えにし屋)

企業や地域、PTAなどのワークショップの企画、運営、コーディネーターの育成にも尽力している。

―清水さんから一言

「日立の地域の方はとても熱心。今日は『日立にはどんな宝物があるか』というテーマを扱ったが、ここに居る方達が宝物だと思う。このような方達がいれば、日立の具体的な未来を



いですね。参加された方々とともに、日立市の問題を考え行動に移すためのきっかけ作りができたのではと思います。

未来デザインワークショップは、導き出された結果よりも、多様な方々と長時間かけて話し合うプロセスそのものが大事だと思っています。人と人の縁で今回の開催まで至ったので、関わった方には、日立市に、少しでもよくなつて頂きたいですね。今後、茨城キリスト教大学や百年塾のみなさんをはじめ、様々な方々とともに、未来デザインで出たアイデアを現実のものにするために行動していきたいです。未来デザインとヘアシリテーターは時代の要請です。ゆくゆくは未来デザインワークショップの講座を開催し、茨城県各地にこの手法を広めて、茨城を盛り上げる仲間づくりをしていきたいですね。」

# 坂本健介氏

(株式会社藤代範雄デザイン事務所勤務、文化デザイナー) 学園非常勤講師、NPO法人エンジヨイントラボ理事、日本グラフィックデザイナー協会会員)



茨城県行方市在住のグラフィックデザイナー。「ヘアシリテーション」「未来デザイン考程」という手法に着目し、地方から発信するデザインを探求している。茨城空港ロゴマーク、本シボジウムポスターデザインなど、多くのデザインを手がけている。

―坂本さんから一言

『降りていく生き方』の上映と「未来デザインワークショップ」を同時に開催することができて本当に嬉し

い。参加された方々とともに、日立市の問題を考え行動に移すためのきっかけ作りができたのではと思います。

# ハイデルベルク大学での学会で「香道」について発表、香席を開催

文化交流学科教授 堀口 悟

去る11月29日と30日にハイデルベルク大学(ドイツ)で開かれたワークショップで「研究発表と討論」とが、10人に招待されて、行って来まわりました。その出身地は

は様々で、フランス人(2名)、イスラエル人、イラン人、インド人、中国人、台湾人、アメリカ人、ドイツ人、そして日本からは私が参加しました。香料という点、西洋では香水、日本ではどうして中国との関係に注目しがち

ですが、中央アジアや西アジアの香り文化の重要性を再認識しました。私は、「香道」に関する研究発表の他に、香席の開催を依頼され、香りを仲立ちとした文化交流ができました。

# 自己変革のふりをして

佐々木 冬流

私は田舎育ちのせいかわれぬものでもある。脆い内面を隠して少し見栄を張り、何とか頑張つてみる。それでなんとか人並みくらいにはやれる。すぐ諦めて引つ込んでしまう学生が目につく。思いと張つて下さい。

彼女らは、ベトナムから日本に学びに来るわけですが、こちらからみれば貴重な「学びの資源」。暖かく迎え入れて、いろいろ学ばせてもらいましょう!

今年3月に定年退職される佐々木冬流先生からメッセージを頂きました。本学に短期大学があったころからの先生で、三十五年以上勤務されました。主に日本文学・文化の講義を担当されました。



来年度からベトナムからも交換留学生がやってきます「藤田 悟

中国、韓国からの交換留学生には授業でも顔を合わせることがあると思います。来年度はベトナム・ホーチミン市外国語・情報技術大学(略称HUFUIT)フリット)からも交換留学生二名(女子)が本学で学ぶことが決まりました。現在、入国手続きに関する書類を整えたり、準備も最終段階に入っています。本学からもフリットに交換留学生が一名学ぶことになっていきます。

# 岩間信之先生ロングインタビュー

## 後篇

前篇から引き続き、後篇では現在問題となっている事や学生へのメッセージなど盛りだくさんの内容です。(文責:編集部)

### 身近にある問題

—先生は様々な研究をされていますが、その中でもフードデザートの問題について教えてください。

フードデザートは、直訳すると「食の砂漠」。食材を手に入れることが出来ずに栄養失調になる住民が多い地域を意味するんだ。今の日本では、空洞化する駅前や過疎山村に住むお年寄りたちが分かりやすい例か

な。近所にお店がなくなっちゃって、片道数キロ歩いて買い物に行かないと、肉や野菜を買えない。お年寄りにとって、生協の宅配は注が難しい。そもそも年金暮らしのお年寄りには、生協の商品は値段が高すぎる。ましてや、インターネットは難しくて使えない。買い物できなくて困っているお年寄りたちは、実はあちこちにいます。でも、若くて車のある人たちにとつ

ては、まさに他人事。だからこれまで、誰もこういうお年寄りの存在に気付かなかった。

フードデザートは、実は過疎山村や地方の駅前だけの話ではないんだ。東京にある「高島平団地」って聞いたことあるかな。高度経済成長期に作られた巨大団地。都会のこうした団地で

も、フードデザート問題が深刻化している。この団地は東京の板橋区に位置している。埼玉との境界の所にあって、埼玉との境

界の所にあって、埼玉との境にあるのだけど、一つの団地に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家



に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

に2万人以上が暮らしている。16階建の同じデザインの高層マンションが、ずらりと並んでいる。造成されたばかりの頃は、団地の子どもたちが自分の家

いるのは小さな中華料理屋一軒と、モスバーガーだけ。おじいちゃんおばあちゃん、おひしめき合っているモスバーガーを初めて見たよ。思わず写真を撮った。

### 人と人の縁をつなぐ

—なかなか見られない光景ですね。

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

高島平団地は入居当時、子どもたちがたくさんいたから、学校がたくさん作られた。なにせ、人口が急に増えたからね。少なくとも小学校が八校、中学校が四校、高校が二校くらい地区内にある。道を挟んで小学校が隣り合っていたりするんだよ。茨城では想像できないでしょう。でも、いまはお年寄りばかりで子ども

## 無縁社会の

## 現状が垣間見える

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

—都市に住んでいてもフードデザートが起きているっていうことには驚きました。

# 「目立つ」のではなく 「自分に着実にできること」

深刻なんだ。水戸の場合でも、一番栄養状態が悪かったのは、店が少ない地区ではなく、引きこもりの独居老人が多い駅前だった。経産省などのお役所は「田舎の商店街に店を作れ！」と言っているけれど、問題の本質はそこではない。店の

出店に税金を使っても無意味だよ。店を作っても、お年寄りや買い物に来ないもの。まずは都会で無縁化するお年寄りをなんとかしなくちゃね。このことをあちこちで主張しているけれど、なかなか聞き入れてもらえない。問題の裏側で、利権などが複雑にからんでいるからね。

——今の学生を見ていて、先生からのアドバイスやメッセージはありますか？

今、就職は本当に厳しいよね。俺はゼミ生たちにも、「一年や二年で人生が決まるわけじゃない。不用意に焦っちゃだめ」って言っているんだ。五年後、十年後の自分がどうありたいかを考えて、その中で今何をす

べきかを見つめていくべき。俺も就職氷河期世代だったから、就職に苦労した。研究者になるのが長年の夢だったけど、なかなか実現しなかった。ちゃんとした給料を初めて貰えたのは33歳だよ。23歳で大学院に入った時、俺は同級生と比べて若かった。仲間の多くは、大学院に来る前に青年海外協力隊などで働いていたりしていたので、俺より5歳くらい年上だった。みんな大学の先生を目指していたので、切磋琢磨したよ。28歳で大学院を卒業し、いざ就職という段階で俺はつまづいた。順調に進学してきた俺は、大学以外の世界を知らないから即戦力にならない。そんなやつはいらないと言って、どの大学も採用してくれなかった。

一方、年上の仲間たちは、社会経験を積んでいる分評価も高く、就職も早かった。俺は五年間、就職できずに

もがいた。苦しかった。この間、様々な大学で非常勤講師をさせてもらって食いつないだ。非常勤講師と大学を日替わりで移動するんだよ。今日は茨城、明日は群馬、明後日は東京と言った感じで。90分の授業をするために、片道3時間くらい電車に乗って関東平野を移動した。一念発起して留学したのもこの頃だね。昔と違い、今は論文をたくさん書かないと就職できないからさ。電車の中で必死に論文を書いたよ。フードゼートの研究もこの頃始めたんだ。当時は誰にも相手にされなかったけど、五年間で結構論文を書き貯めたし、いろいろな大学の教壇に立つたおかげで、多少は授業も上手くなったはずなのだが……この五年間は、俺の

挑戦するパワー

就職してからも競争は続く。スタートの一年や二年なんて、長い人生から見たら誤差みたいなものだと思う。遅れはいくらでも取り戻せる。だから焦っちゃだめだ。日本で就職が決まらなかったら、たとえば海外という選択肢だってある。ベトナムで日本語教員をするとか、バンコクでツアーコンダクターとして働くとか。なにも、そこで一生過ごせという訳じゃない。海外で何年か働いて、キャリアを積んで帰ってくれば良い。四年間大学で勉強しただけの学生と、大学で学んだことを活かして海外で経験を積んだ学生とでは、社会の評価はずいぶん違ってくる。就職の面接のとき、「異国の地で一人で頑張ってきたよ！」なんて言ったら格好良いじゃない？

自信を持つ大事さ

——これから就職活動を控えている私達学生にとつて、そう思うと色々と考えてしまいますよね……。

自己紹介をするときに「自分はこういう者なんだ」とってパッと伝えることは一つの自信の表れであり、アイデンティティだよ。胸を張って自己紹介ができる人間でありたいと思うし、みんなにもそうあってほしい。カンボジアに行つたということでもよい。ダンスでも良い。パイ

活動のときに胸を張って自己紹介が出来るよ、良い結果をもたらすんじゃないかな？ 社会に出てからもさうだよ。仕事でも良いし、

趣味でも良い。こういう自信を大事にして欲しいな。俺が知らないことをどんどん経験して、いろいろなことを教えてほしい。みんなの可能性はとて大きい。世界は広いよ。大魏だけがすべてじゃない。自分で自分を小さくしちゃだめだよ

例えば、日立市内の若いお兄さん達が、サンドアートのプロジェクトを立ち上げて、一生懸命街づくりをしている。日立の街で働く若者たちが、仕事の合間に始めた企画なんだ。夏の砂浜に巨大な砂の彫刻を造って並べる。夏の夜空に数千発の花火を打ち上げる。サンドアートのイベントは、片田舎の海岸で開かれたひと夏の小さなイベントにすぎないかもしれない。でも、その波及効果はすごい。結果的に、彼らは街を動かしている。県や市役所が躍起になって市民に働き

かけても、地域の活性化は少しも進まなかった。そんな日立市民が、サンドアートをきっかけに、いま動くとしていて。サンドアートの学生たちも、感動していたよ。こういう偉業を成し遂げた青年会議所の彼らを、俺は心から尊敬する。彼らにとつても、サンドアートの成功は大きな自信になっていると思う。一生の思い出に残るだろうしね。「目立つ」のではなく、「自分に着実にできること」。そういうものを、みんなにもどんどんやって欲しい。

## 自分が

### どうありたいか

——今の学生を見ていて、先生からのアドバイスやメッセージはありますか？

今、就職は本当に厳しいよね。俺はゼミ生たちにも、「一年や二年で人生が決まるわけじゃない。不用意に焦っちゃだめ」って言っているんだ。五年後、十年後の自分がどうありたいかを考えて、その中で今何をす

べきかを見つめていくべき。俺も就職氷河期世代だったから、就職に苦労した。研究者になるのが長年の夢だったけど、なかなか実現しなかった。ちゃんとした給料を初めて貰えたのは33歳だよ。23歳で大学院に入った時、俺は同級生と比べて若かった。仲間の多くは、大学院に来る前に青年海外協力隊などで働いていたりしていたので、俺より5歳くらい年上だった。みんな大学の先生を目指していたので、切磋琢磨したよ。28歳で大学院を卒業し、いざ就職という段階で俺はつまづいた。順調に進学してきた俺は、大学以外の世界を知らないから即戦力にならない。そんなやつはいらないと言って、どの大学も採用してくれなかった。

一方、年上の仲間たちは、社会経験を積んでいる分評価も高く、就職も早かった。俺は五年間、就職できずに

もがいた。苦しかった。この間、様々な大学で非常勤講師をさせてもらって食いつないだ。非常勤講師と大学を日替わりで移動するんだよ。今日は茨城、明日は群馬、明後日は東京と言った感じで。90分の授業をするために、片道3時間くらい電車に乗って関東平野を移動した。一念発起して留学したのもこの頃だね。昔と違い、今は論文をたくさん書かないと就職できないからさ。電車の中で必死に論文を書いたよ。フードゼートの研究もこの頃始めたんだ。当時は誰にも相手にされなかったけど、五年間で結構論文を書き貯めたし、いろいろな大学の教壇に立つたおかげで、多少は授業も上手くなったはずなのだが……この五年間は、俺の

挑戦するパワー

自信を持つ大事さ

自己紹介をするときに「自分はこういう者なんだ」とってパッと伝えることは一つの自信の表れであり、アイデンティティだよ。胸を張って自己紹介ができる人間でありたいと思うし、みんなにもそうあってほしい。カンボジアに行つたということでもよい。ダンスでも良い。パイ



地球市民論 近藤レイラニさん 講演会

# フィリピンの子育て事情



11月22日、1年生の必修科目・地球市民論の授業に、近藤レイラニさんをお招きして講演会が行われました。テーマは「フィリピンの子育て事情」。講演を聴いた学生の感想を紹介します。

## 一度行ってみたい

文化交流学科1年次  
孤方拓実

フィリピンは百年間スペインの植民地になっていたのを知りました。山で米を育てている光景やそれに海がきれいなので、一度はフィリピンに行きたいです。

また、祝い事があると豚の丸焼きを半日かけて作るそうです。耳が美味しいと聞いたので機会があれば食べてみたいです。それにフィリピン人

## とても温かい感じ

文化交流学科1年次  
鈴木望未

日本では、家族が離れて暮らしている人もいるのに、フィリピンでは皆が家族というのを聞いて驚きました。日本人は核家族が多いので、あまり大家族は少ないように感じます。でも、フィリ

は祭り好きで、色々なダンスをやっているようなので、賑やかそうでいいなと思いました。

フィリピンに百も民族がいることを知って驚きました。日本には民族があまりいないので一度会ってみたいです。

他には、フィリピンでは幼稚園から授業があり、小学校を出ると高校に四年間行き、授業では英語とフィリピン語のミックスで授業を行うそうです。とてもややこしそう。けれど公立小・高校は授業料が無料なのが

ピンは遠い親戚の人も住んでいたり、兄弟が多かったりと、とても温かい感じだと思いました。勉強はほとんど英語が使われていると聞き、もし私が「英語の本で勉強しろ」と言われても、無理だなと思いましたが、私も自分の国の言葉をもっと使ってほしいなと感じました。

年齢層は日本より若い人が多いが、1歳になる

すごいと思いました。

フィリピンでは高校を出る人が少ないそうです。子供のホームレスがいるというのを知り、かわいそうだと思います。

その多くが親の虐待等で家を出たり、子供でも仕事をしているそうです。車が渋滞の時に、子供にたばこなどを売らせているのが悲しいです。

フィリピンにはたくさん島の島があるが、ほとんど無人島だったことは驚きました。一度、行ってみたいです。

## 日本と似ている所と違う所

文化交流学科1年次  
塚本美佳

町には古い教会がたくさんあり、とてもいい雰囲気だと思いました。

一年中いろいろなお祭り(パレード)があつて活気のある国だと思いました。人口の約3%が少数民族である。そこではまだ物々交換。未だに、物々交換の社会があるなんて

驚いた。日本とはアメリカに次いで貿易関係。

スーパーでフィリピン産のバナナをよく売っているのを見かけるので、貿易が盛んなのが分かりました。家族のしくみについては日本とほぼ同じしくみだと思いました。

学校は2学期制で、日本という春休み期間中は宿題もなくてうらやましい。日本では春休みでも宿題があるのに……。教科書は英語、フィリピン語、地方の方言のミックスで大変そう。日本では、日本語だけなので本当に

大変なことだと思いました。教育費は公立小・高校無料だし、他の学校も日本よりは安い。一五〇万人がホームレスでそのうち90%が虐待された子供なので、とてもかわいそうだと思います。

## 近藤レイラニさん略歴

- ・出身はフィリピン、バタングラス州の中心、首都マニラから南方に車で二時間のところ
- ・一九九四年 フィリピン大学農業経済学部卒業
- ・一九九四年～二〇〇〇年 フィリピン農業研究開発機構勤務
- ・一九九九年 結婚
- ・二〇〇〇年3月 来日
- ・二〇〇〇年～二〇〇九年 個人英語教室で働く
- ・二〇〇六年 和道会舘ヶ関空手倶楽部つくば支部初段
- ・二〇〇七年～二〇〇九年 つくば市立桜南小学校にて日本語ボランティアを行う
- ・二〇〇九年6月～10月 国際稲研究所にて、理事会議つくば事務局勤務
- ・二〇一〇年からつくば市立桜南小学校にて英語ボランティア
- ・二〇一〇年7月～現在、独立行政法人国際農林水産業研究センター勤務

「下から続く」

### 今年もカンボジアに

昨年11月2、3日に行われた学園祭でのアジアンバザールは今年で7回目となりました。

夏休みを利用して行われた「カンボジア日本語・英語教育ボランティア」は、現地集合・現地解散といういささかハードルの高いプログラムです。参加者の学生は、数人でパーティを組み、ベトナムやタイから各自集合場

所であるカンボジアの首都プノンペンへ向かいま

### 東南アジアを おすそ分け

### 今年を来年に活かす

になりました。

るのがアジバザの醍醐味です。

「市場の日用品コーナーで、面白いの見つけた！」とかなんとか言いながら、果てしないディスプレイの交渉をして地道に買い集めた物ばかりです。

なので、アンコールワットのお土産あり、上質なシルクあり、路地裏で売られているおもちやありのにぎやかな品揃え

「今年は良い布が多いね！ ボランティアはどうだった？」と、毎年来てくれるおぼちゃんに言われたり、「カンボジアってこんな物があるんですね！」と盛り上がる姿で会場がにぎわっていました。

自分たちが肌で感じた東南アジアのあれこれを、品物を通して誰かにちよつとおすそ分けでき

評判が良かったからこの小物は来年も買おう、これはもうやめておこう……など、スタッフでの話合いも面白く、やりがいがあります。

来年のアジバザに乞うご期待！ ぜひまた来てくださいね。  
「文化交流学科  
4年次 鈴木麻由」



アジバザスタッフ 左から  
鈴木麻由さん・鈴木香奈さん・重盛真由子さん・木村紫絵里さん

## これからもチャレンジ精神で

私もアジバザに行きました

染谷智幸 文化交流学科教授

シオン祭に来たら最初に行くところ、それはアジアンバザールである。

が良い。今年は何があるかなあとワクワクするからである。

ザイなど着てくれたら良い。カンボジアの絹緋(きぬがすり)などあれば最高！ 決して似合わなくとも良い。アオザイのお腹の辺りが三段ナントカ

これはヨイシヨじゃなくてマジである。絶対に、ヨイシヨしたら何か売れ残りや呉れるかなあなんて魂胆ではない！（受け取らないわけでもないが……）

また、食べ物があるのも良い。今年はお肉を食べたが美味しかった。あれなら40万ドンぐらいの価値はある（安！）。

高！ 決して似合わなくとも良い。アオザイのお腹の辺りが三段ナントカ

それはともかく、毎年違った品が並んでいるの

あと、希望を言うなら、スタッフの衣装に工夫が欲しい。カンボジアの民族衣装やベトナムのアオ

が大切だ！ その無謀さが文化交流の肝（キモ）だからね。

# 就職活動報告

就職活動の厳しさが叫ばれている中、内定を勝ち取った本学部の4年生に経験談を語っていただきました。現在就活を始めている3年生だけでなく、1・2年生にも参考にしてみてくださいと思います。

## 自分は自分。今できることを精一杯やろう。

文化交流学科 4年次

鴨志田 勝徳

## 先の見えない不安を楽しむ

振り返ってみると就職活動はやつぱりきつかったと思う。何度も心が折れそうになり、やめたくなかった。内定も簡単にはもらえなかった。本当にきつい、それは覚悟しておいた方がいいと思う。一次で落ちることもざらにある。先が見えなくて、不安で、腹が立つことだってある。

## 合同研究会で会場慣れ

そんな自分に変化が起きたのは何度か学内企業説明会に参加したあたりだった。結論を言うと自分には合同説明会は合わなかった。しかし、今考えると合説で会場慣れはできたのかもしれない。

## 面接は緊張するが「自分は自分」

それ以来合説には参加せず、リクナビ、マイナビなどから自分の興味のある企業の説明会の予約をガンガン入れた。初めの何度かは緊張したので友達を誘って

## 内定後の不安もあった

内定をもらった時は本当に嬉しかった。自分のしてきたことは間違っていないか。きつかった就職活動がやつと報われたと思えた。でも、内定をもらったからと言ってすべて不安が消えたとも言えない。本当にここでもいいのか、やつて

## 喜びも悲しみも

それは今でも就職活動を頑張っている人にしてみれば贅沢なことだろうが、これは今のところ消えそうにない。どんな状況であつたとしても、不安はずつと付きまとう。

## 喜びも悲しみも

だが僕はこの就職活動を今ではとても有意義なものに感じられる。あの時一歩踏み出さなければ喜びも悲しみも味わうことができなかった。

## 喜びも悲しみも

これは大学4年生にしか味わうことのできない大きな経験。この時期の就職戦線を乗り越えた人達はきつと強くなれると思う。だからみんなにも頑張ってもらいたい。つらかった就職活動を笑い話にできるその時まで。

## 喜びも悲しみも

今にしてみれば、業種や職種、求めている人材などに合わせて内容を変えられれば書類で落とされることも少なくなつたのではないかと思う。

## 喜びも悲しみも

だからみなさんには大学で多くのことを学んで欲しい。無駄なことなんて一つもない。その経験は面接で大いにネタにもなる。

## 喜びも悲しみも

転機が訪れたのは何回目かの集団面接。右隣が言葉に詰まり内容を突っ込まれ、さらに左隣がロボットのような話し方をしていて、「きつと一生懸命丸暗記してきたのだ」と、心の中でそう思った。それから力が抜けた。自分は自分。今できることを精一杯やろう。奇しくも、それを教えてくれた企業から自分には内定を頂けた。

## 喜びも悲しみも

だが僕はこの就職活動を今ではとても有意義なものに感じられる。あの時一歩踏み出さなければ喜びも悲しみも味わうことができなかった。

## 喜びも悲しみも

また、要望があれば様々な方面に援助をする方針です。学部や学科を問わず、学生、教員などが呼びかけに参加。通称「ボラサポ」として活動の規模は広がっています。

## 喜びも悲しみも

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。 [藤田]

## 喜びも悲しみも

自分が残らないように私も、悔いが残らないように私は普段、学校内であまり足を運ばない場所に行ってみようかと思えます。その代表格が食堂!! 全メニュー制覇は、難しそうですが……。

## 喜びも悲しみも

学生たちの好きなように編集作業をやらせておきながら、最後の方でいろいろ難癖をつけるので、嫌がられています。毎回、最終バージョンがばくの手元に来てから一週間以内に、全体を本当の最終バージョンに持つていくのが、ばくの仕事です。記事の配置を変更したり、かなり大がかりに、無慈悲に、いじくり回します。どうしても譲れないレベるといふものがあります。でも、気がついてみると、学生の最終バージョンが、しばらく前よりは格段にさまになってきているように思われます。 [藤田]

## 喜びも悲しみも

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

## 喜びも悲しみも

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

## 喜びも悲しみも

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。 [佐々木美和]

## 喜びも悲しみも

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

## 喜びも悲しみも

[藤田]

## 喜びも悲しみも

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

## 喜びも悲しみも

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

## 喜びも悲しみも

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。

## 喜びも悲しみも

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

## 喜びも悲しみも

私も、悔いが残らないように私は普段、学校内であまり足を運ばない場所に行ってみようかと思えます。その代表格が食堂!! 全メニュー制覇は、難しそうですが……。

## 喜びも悲しみも

学生たちの好きなように編集作業をやらせておきながら、最後の方でいろいろ難癖をつけるので、嫌がられています。毎回、最終バージョンがばくの手元に来てから一週間以内に、全体を本当の最終バージョンに持つていくのが、ばくの仕事です。記事の配置を変更したり、かなり大がかりに、無慈悲に、いじくり回します。どうしても譲れないレベるといふものがあります。でも、気がついてみると、学生の最終バージョンが、しばらく前よりは格段にさまになってきているように思われます。 [藤田]

## 喜びも悲しみも

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

## 喜びも悲しみも

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

## 喜びも悲しみも

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。

## 喜びも悲しみも

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

## 喜びも悲しみも

私も、悔いが残らないように私は普段、学校内であまり足を運ばない場所に行ってみようかと思えます。その代表格が食堂!! 全メニュー制覇は、難しそうですが……。

## 喜びも悲しみも

学生たちの好きなように編集作業をやらせておきながら、最後の方でいろいろ難癖をつけるので、嫌がられています。毎回、最終バージョンがばくの手元に来てから一週間以内に、全体を本当の最終バージョンに持つていくのが、ばくの仕事です。記事の配置を変更したり、かなり大がかりに、無慈悲に、いじくり回します。どうしても譲れないレベるといふものがあります。でも、気がついてみると、学生の最終バージョンが、しばらく前よりは格段にさまになってきているように思われます。 [藤田]

## 喜びも悲しみも

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

## 喜びも悲しみも

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

## 喜びも悲しみも

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。

## 喜びも悲しみも

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

## 喜びも悲しみも

私も、悔いが残らないように私は普段、学校内であまり足を運ばない場所に行ってみようかと思えます。その代表格が食堂!! 全メニュー制覇は、難しそうですが……。

## 喜びも悲しみも

学生たちの好きなように編集作業をやらせておきながら、最後の方でいろいろ難癖をつけるので、嫌がられています。毎回、最終バージョンがばくの手元に来てから一週間以内に、全体を本当の最終バージョンに持つていくのが、ばくの仕事です。記事の配置を変更したり、かなり大がかりに、無慈悲に、いじくり回します。どうしても譲れないレベるといふものがあります。でも、気がついてみると、学生の最終バージョンが、しばらく前よりは格段にさまになってきているように思われます。 [藤田]

## 喜びも悲しみも

[藤田]

## 編集後記

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

私も、悔いが残らないように私は普段、学校内であまり足を運ばない場所に行ってみようかと思えます。その代表格が食堂!! 全メニュー制覇は、難しそうですが……。

学生たちの好きなように編集作業をやらせておきながら、最後の方でいろいろ難癖をつけるので、嫌がられています。毎回、最終バージョンがばくの手元に来てから一週間以内に、全体を本当の最終バージョンに持つていくのが、ばくの仕事です。記事の配置を変更したり、かなり大がかりに、無慈悲に、いじくり回します。どうしても譲れないレベるといふものがあります。でも、気がついてみると、学生の最終バージョンが、しばらく前よりは格段にさまになってきているように思われます。 [藤田]

あと数カ月で学生生活も終わります(しつかり単位が取れば)。ロンゴロンゴの編集はもちろん、色々なことに悔いを残さずやり切りたい気持ちです。

しかし、まずは身近なところから目標達成をしようと思いつきました。

生協の肉まん、あんまん、シヨラまん……遅い時間だと売り切れていることもある。人気が、全制覇したいです。

何事も「最後」という言葉が付きまとう一年が、終わろうとしています。いや、時の流れは早いものです。もう大学卒業が迫っています。

## 喜びも悲しみも

[藤田]